

# 安全データシート

作成:2012年10月11日

改訂:2023年 4月17日

## 1. 製品及び会社情報

製品名	: 理研ファンターフ顆粒水和剤
会社名	: 株式会社理研グリーン
住所	: 東京都台東区東上野4-8-1
担当部門	: 開発部 企画開発課
電話番号	: 03-6802-8587
FAX番号	: 03-6802-8303
緊急連絡先	: 同上
推奨用途及び使用上の制限	: 農薬

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 健康有害性

#### 発がん性

#### 区分1A

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分1(神経系、呼吸器系)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分1(呼吸器系、腎臓)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分2(肝臓)

#### 環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)

区分1

水生環境有害性 長期(慢性)

区分1

### ラベル要素

#### 絵表示(GHS JP)



#### 注意喚起語(GHS JP)

: 危険

#### 危険有害性(GHS JP)

: 発がんのおそれ

臓器の障害(神経系、呼吸器系)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系、腎臓)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(肝臓)

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影响によって水生生物に非常に強い毒性

#### 注意書き(GHS JP)

##### 安全対策

: 使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じんを吸入しないこと。

取扱い後は手、顔をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

環境への放出を避けること。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

##### 応急措置

: ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当を受けること。

気分が悪いときは、医師の診察／手当を受けること。

漏出物を回収すること。

保管 : 施錠して保管すること。

廃棄 : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の區別 : 混合物  
一般名 : 芝生用殺菌剤

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
メチル-[2-クロロ-5-[(E)-1-(6-メチル-2-ピリジルメキシミノ)エチル]ベンジル]カルバマート	40.0	構造式 は末尾に 記載	適用外(農 薬)	8-(1)-3239	799247-52-2
結晶質シリカ	33.0	SiO <sub>2</sub>	(1)-548	なし(公表化 学物質扱い)	14808-60-7
ドデシル硫酸ナトリウム	1.4	NaO-SO <sub>2</sub> O-(CH <sub>2</sub> ) <sub>11</sub> -CH <sub>3</sub>	(2)-1679	なし(公表化 学物質扱い)	151-21-3

#### 《界面活性剤、鉱物質微粉等》

CAS No. 記載せず  
含有量 25.6 %  
化審法 記載せず  
安衛法 記載せず

《メチル-[2-クロロ-5-[(E)-1-(6-メチル-2-ピリジルメキシミノ)エチル]ベンジル]カルバマート の別名》

ピリベンカルブ

《結晶質シリカの別名》

石英

《ドデシル硫酸ナトリウムの別名》

ラウリル硫酸ナトリウム

### 4. 応急措置

#### 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。  
ただし多量に吸入した場合は、直ぐに何も症状が認められなくても、必ず医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴を直ちに脱ぐこと。  
多量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察／手当を受けること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当を受けること。

- 飲み込んだ場合 : 水で口の中をよく洗う。  
直ちに医師の診察／手当てを受けること。
- 医師に対する特別な注意事項  
その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。
5. 火災時の措置
- 適切な消火剤 : 霧状の水  
炭酸ガス消火剤  
粉末消火剤  
泡消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし。  
火災危険性 : 燃焼によって有毒ガスを生成する。
- 消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。  
消火作業は風上から行う。  
周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。  
移動できない場合、容器に放水し、冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 燃焼により毒性・有害性ガスを発生するので、自給式呼吸器を含む消火保護具を着用のこと。
6. 漏出時の措置
- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置
- 一般的措置 : 作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照のこと。  
人を退避させ、飛散・漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」及び「火気厳禁」の措置を行う。  
十分な換気を確保する。  
風上から近づく。  
眼、皮膚、衣類につけないこと。  
粉塵を吸入しないこと。
- 環境に対する注意事項
- 環境に対する注意事項 : 排水溝または水路への侵入を防ぐ。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
- 封じ込め方法 : 漏洩物を掃き集めて空容器に回収する。必要なら砂等をまいてできるだけ回収する。
- 二次災害の防止策 : 炎や火花の禁止。発火源をすべて断つ。
7. 取り扱い及び保管上の注意
- 取扱い
- 技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項 : 作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照のこと。  
取扱い後はよく手、顔を洗うこと。  
眼、皮膚、衣類につけないこと。  
粉塵を吸入しないこと。  
局所排気装置等を運転し、できるだけ粉を立てないように取り扱う。

	作業所の十分な換気を確保する。 使用前に取扱説明書を入手すること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ラベルの記載以外には使用しないこと。 「10. 安定性及び反応性」を参照のこと。
接触回避	
保管	
安全な保管条件	: 火気や直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した場所に施錠して保管すること。
安全な容器包装材料	: データなし
8. ばく露防止及び保護措置	
日本産業衛生学会	
許容濃度(産衛学会)	: 第3種粉塵:吸入性粉塵2mg/m <sup>3</sup> 、総粉塵8mg/m <sup>3</sup>
年度	: 2020
《結晶質シリカのデータ》	
厚生労働省	
管理濃度	: $E=3.0/(1.19Q+1)$ , E:管理濃度(mg/m <sup>3</sup> ), Q:当該粉じんの遊離けい酸含有率(%)
日本産業衛生学会	
許容濃度(産衛学会)	: 0.03 mg/m <sup>3</sup> (吸入性結晶質シリカ)
年度	: 2021
ACGIH	
許容濃度(ACGIH)	: 0.025 mg/m <sup>3</sup> (Respiratory fraction)
年度	: 2021
《ドデシル硫酸ナトリウムのデータ》	
厚生労働省	
管理濃度	: 設定されていない。
日本産業衛生学会	
許容濃度(産衛学会)	: 設定されていない。
年度	: 2020
ACGIH	
許容濃度(ACGIH)	: 設定されていない。
年度	: 2021
設備対策	: 屋内使用の場合、装置を密閉化し、局所排気装置又は全体排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、シャワー・洗眼器を設置する。
呼吸用保護具	: 防塵マスク
手の保護具	: ゴム・塩ビ等の不浸透性手袋
眼の保護具	: ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	: 材質を特定しないが、長袖・長ズボン 帽子 保護クリーム

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
形状	: 細粒
色	: 淡褐色水和性
臭い	: データなし
pH	: 9.5(参考値)
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: 0.65(参考値)
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数(Log Pow)	: データなし
爆発限界(vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし。
化学的安定性	: 通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: 情報なし。
避けるべき条件	: 直射日光。高温。熱。
混触危険物質	: 情報なし。
危険有害な分解生成物	: 燃焼によって有毒ガスを生成する。

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 区分に該当しない
急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 分類できない(粉じん、ミスト)

理研ファンターフ顆粒水和剤	
LD50 経口 ラット	≥ 2000 mg/kg (♀)
LD50 経皮 ラット	≥ 2000 mg/kg (♂、♀)

### 皮膚腐食性/皮膚刺激性

: 区分に該当しない  
中程度の皮膚刺激性が認められた。紅斑・かさぶたの平均スコアが2.3未満であったが、7日後には回復し、落屑も処理13日後まで認められたが、14日後には回復したことから、区分に該当ないとした。(ウサキ)

理研ファンターフ顆粒水和剤

pH	9.5 (参考値)
----	-----------

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分に該当しない  
結膜に軽度の発赤及び浮腫が認められたが、平均スコアがそれぞれ2未満であったことから、区分に該当しないとした。(ウサキ)

理研ファンターフ顆粒水和剤

pH	9.5 (参考値)
----	-----------

呼吸感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 区分に該当しない  
感作性なし(モルモット)

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 発がんのおそれ  
区分1の結晶質石英を0.1%以上含有していることから、区分1とした。

生殖毒性 : 分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 臓器の障害(神経系、呼吸器系)  
区分1(神経系)のピリベンカルブ、区分1(呼吸器系)をそれぞれ10%以上含有するため、区分1(神経系、呼吸器系)とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系、腎臓)  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(肝臓)  
区分1(呼吸器系、腎臓)の結晶質石英を10%以上、区分2(肝臓)のピリベンカルブを10%以上含有するため、区分1(呼吸器系、腎臓)、区分2(肝臓)とした。

誤えん有害性 : 分類できない

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に非常に強い毒性

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

理研ファンターフ顆粒水和剤

LC50 - 魚 [1]	4.48 mg/l (コイ、96 hr)
--------------	----------------------

EC50 - 甲殻類 [1]	0.491 mg/l (オオミジンコ、48 hr)
----------------	---------------------------

ErC50 藻類	10 mg/l (72 hr)
----------	-----------------

### 残留性・分解性

理研ファンターフ顆粒水和剤

残留性・分解性	データなし
---------	-------

### 生体蓄積性

理研ファンターフ顆粒水和剤	
生体蓄積性	データなし

メチル-[2-クロロ-5-[(E)-1-(6-メチル-2-ヒリジルメキシミノ)エチル]ベンジル]カルバマート	
BCF - 魚 [1]	20 (コイ)

### 土壤中の移動性

理研ファンターフ顆粒水和剤	
土壤中の移動性	データなし

### オゾン層への有害性

オゾン層への有害性

: 分類できない

オゾン層への影響

: モントリオール議定書に指定された物質を含有しない。

その他の有害な影響

: 追加情報なし

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

: 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。  
処理を外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

汚染容器及び包装

: 容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。

### 14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

: IMOの規定に従う。

航空規制情報

: ICAO/IATAの規定に従う。

国連番号

: 3077

正式輸送品名

: 環境有害物質(固体)

国連分類

: 9

容器等級

: III

海洋汚染物質

:



適用される

国内規制

海上規制情報

: 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報

: 航空法の規定に従う。

特別な輸送上の注意

: 荷役中の取扱いは、慎重丁寧に行い、手かぎの使用・転倒・落下・衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。

: 輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動搖、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載・輸送する。

その他の情報

: 補足情報なし。

### 15. 適用法令

国内法令

化審法

: 優先評価化学物質(法第2条第5項)

労働安全衛生法

ナトリウム=アルキル=スルファート

: 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)

結晶質シリカ

: 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

結晶質シリカ(政令番号:165の2)

毒物及び劇物取締法

: 非該当

消防法

: 非該当

化学物質排出把握管理促進法  
(PRTR法)

: 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

ドデシル硫酸ナトリウム(管理番号:275) (1.4%)

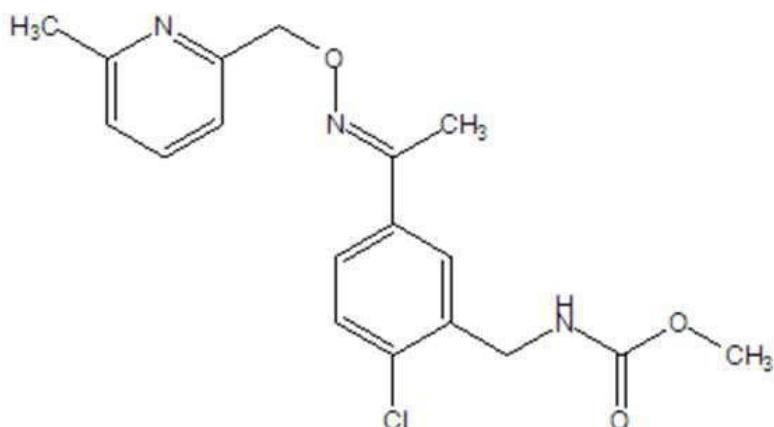
(E)-N-[2-クロロ-5-[(E)-1-(6-メチル-2-ピリジルメキシミノ)エチル]ベンジル]カルバミン酸メチル  
(別名ピリベンカルブ) (管理番号:622) (40%)

農薬取締法

: 該当

## 16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。



CAS 番号

: 99247-52-2

化学名

: メチル-[2-クロロ-5-[(E)-1-(6-メチル-2-ピリジルメキシミノ)エチル]ベンジル]カルバミート